

デーリー東北

2026年(令和8年)3月2日(月曜日) (11)

学生と生徒 交流で成長へ

八工大と三沢高 教育・研究で連携



連携協定書を手にする八工大の船崎健一学長(左)と三沢高の千葉努校長

三沢

八戸工業大(船崎健一学長)と青森県立三沢高(千葉努校長)は2月25日、教育や研究に関する連携協定を締結した。具体的な連携内容をめぐる協議を進めて決める。現時点では同大の学生が専門的な知識を生かして同高で講義するなど、学生、生徒の交流を計画している。

この日、同高で開かれた協定の締結式では、船崎学長が「本校の学生が生徒と

交流することでお互いの成長につながる。この協定が実り多いものになると信じている」とあいさつ。千葉校長は「専門的な立場からのアドバイスを頂けるのは重要なこと。生徒たちが次に進むためのヒントを得ることができれば」と語った。

あいさつの後、両者は協定書に署名した。

締結式終了後は記念講演会が開かれ、航空宇宙分野などについて船崎学長が講演した。(上村公悟)

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。